

第 39 回全国ラージボール卓球大会 実施要項

(※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください)

- (1) 名称 第 39 回全国ラージボール卓球大会
(2) 期 日 2026 年 11 月 21 日(土)～23 日(月・祝)
(3) 会 場 シゲトーアリーナ岡山
JR「岡山」駅 運動公園口(西口)から岡電バス、「スポーツセンター前」下車
〒700-0012 岡山市北区いずみ町 1-1-3 TEL: 086-253-3944
(4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
(5) 主 管 岡山県卓球協会
(6) 後 援 岡山県、(公財)岡山県スポーツ協会、岡山市、(公財)岡山市スポーツ協会、岡山市教育委員会、
山陽新聞社、OHK 岡山放送、岡山県レディース卓球連盟(予定)

(7) 競技種目

イ. シングルス:

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①一般男子シングルス | ⑩一般女子シングルス |
| ②男子シングルス 40 (40 歳以上) | ⑪女子シングルス 40 (40 歳以上) |
| ③男子シングルス 50 (50 歳以上) | ⑫女子シングルス 50 (50 歳以上) |
| ④男子シングルス 60 (60 歳以上) | ⑬女子シングルス 60 (60 歳以上) |
| ⑤男子シングルス 65 (65 歳以上) | ⑭女子シングルス 65 (65 歳以上) |
| ⑥男子シングルス 70 (70 歳以上) | ⑮女子シングルス 70 (70 歳以上) |
| ⑦男子シングルス 75 (75 歳以上) | ⑯女子シングルス 75 (75 歳以上) |
| ⑧男子シングルス 80 (80 歳以上) | ⑰女子シングルス 80 (80 歳以上) |
| ⑨男子シングルス 85 (85 歳以上) | ⑱女子シングルス 85 (85 歳以上) |

ロ. 混合ダブルス: ダブルスは 2 名の合計年齢とする。

- ①一般混合ダブルス
- ②混合ダブルス 80 (合計 80 歳以上)
- ③混合ダブルス 100 (合計 100 歳以上)
- ④混合ダブルス 120 (合計 120 歳以上)
- ⑤混合ダブルス 130 (合計 130 歳以上)
- ⑥混合ダブルス 140 (合計 140 歳以上)
- ⑦混合ダブルス 150 (合計 150 歳以上)
- ⑧混合ダブルス 160 (合計 160 歳以上)

(8) 試合方法

- ① 各種目とも 11 ポイント 3 ゲームマッチとする。
- ② 各種目とも第 1 ステージは 3～4 名(組)によるリーグ戦とし、第 2 ステージは第 1 ステージの 1 位の者(組)によるトーナメント方式とする。(1 種目 1 トーナメント)

(9) 競技日程

(参加申込数により変更される場合があります)

11 月 20 日(金)	前日受付 14:00～17:00 (予定) ※受付は各日程で行っております 前日練習 14:30～17:00 (予定)
21 日(土)	開会式 混合ダブルス全種目(決勝まで) シングルス 75～85
22 日(日)	シングルス 65～85 (決勝まで) シングルス一般～60
23 日(月)	シングルス一般～60 (決勝まで) 閉会式

(10) 競技ルール

- ① 現行のラージボール卓球ルールによる。
- ② 卓球台は(公財)日本卓球協会公認台を使用する。
- ③ ボールは(公財)日本卓球協会公認プラスチック球; 44 mmを使用する。
- ④ ゼッケンは 2026 年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ⑤ 競技用のユニフォームは(公財)日本卓球協会の公認マークのついたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
- ⑥ ダブルスを組む競技者は靴および靴下、服装についている広告の数・大きさ・色・デザインを除いて、同じ服装で競技すること。

- ⑦ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして（公財）日本卓球協会が公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑧ 競技領域は、正規の広さより狭まる場合がある。
- ⑨ 表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみを使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
- ⑩ 第1ステージの審判は、グループ内の選手による相互審判で行う。

(11) 参加資格

- ① 選手は、2026年度（公財）日本卓球協会選手登録者であること。
- ② 以下の各種目の参加適用年齢は下記のとおりとする。
 - (イ) 40（40歳以上）は1987年（昭和62年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ロ) 50（50歳以上）は1977年（昭和52年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ハ) 60（60歳以上）は1967年（昭和42年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ニ) 65（65歳以上）は1962年（昭和37年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ホ) 70（70歳以上）は1957年（昭和32年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ヘ) 75（75歳以上）は1952年（昭和27年）4月1日以前に生まれた者。
 - (ト) 80（80歳以上）は1947年（昭和22年）4月1日以前に生まれた者。
 - (チ) 85（85歳以上）は1942年（昭和17年）4月1日以前に生まれた者。
- ③ 中学生以下の児童・生徒および高体連・日学連登録の生徒・学生は参加できない。
- ④ 各選手はシングルス、混合ダブルスの両種目に出場することができる。
- ⑤ 第9回全日本ラージボール卓球選手権大会に申込みをする選手は出場できない。（予選会については都道府県に一任する）
- ⑥ 第8回全日本ラージボール卓球選手権大会シングルス8位、混合ダブルス3位（4組）までに入った選手は第39回全国ラージボール卓球大会には出場できない。ただし、混合ダブルスのみ3位までに入りペアを解消した場合は翌年度全国ラージボール卓球大会にシングルス・混合ダブルスとも出場できる（その場合、混合ダブルスの無条件出場資格はない）。
- ⑦ 同一種目内において、一般と年代別を重複して出場はできない。
- ⑧ 混合ダブルスは、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
（異なる都道府県に登録している選手同士でペアを組むことは認められない。）
- ⑨ 各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。必ず各都道府県の加盟団体の責任者が全種目を一括して申し込むこと。
- ⑩ 審判ができること。（公認審判員の資格を有することが望ましい）
なお、帯同者が代わりに審判をしてもよい。
- ⑪ 無条件出場選手はありません。

(12) 参加数

男女シングルス各		混合ダブルス各	
都道府県名	人数	都道府県名	組数
東京、愛知	36名	東京、愛知	24組
北海道、静岡、福岡	27名	北海道、静岡、福岡	18組
埼玉、神奈川、京都、大阪	20名	岡山（開催地）、埼玉、神奈川、	12組
岡山（開催地）、兵庫、長崎	15名	京都、大阪、兵庫、長崎	
栃木、長野、鹿児島	10名	山形、栃木、千葉、長野、山口、鹿児島	9組
その他の県	9名	その他の県	8組

※開催地は男女シングルス各20名と混合ダブルス20組を増枠する。

男女シングルス

2025年度日卓協一般男女選手登録人員 上位2位加盟団体男女各36名、上位3～5位加盟団体男女各27名、上位6～9位加盟団体男女各20名、上位10～12位加盟団体男女各15名、上位13～15位加盟団体男女各10名、上位16位～加盟団体男女各9名

混合ダブルス

2025年度日卓協一般男女選手登録人員 上位2位加盟団体各24組、上位3～5位加盟団体各18組、上位6～12位加盟団体各12組、上位13～18位加盟団体各9組、上位19位～加盟団体各8組

(13) 参加料 シングルス 1名 4,000円 、 ダブルス 1組 5,000円

- (14) 申込方法 大会申込システムを使用して申し込むこと。なお、主管地へはデータを本会よりメールで送付する。参加料は、加盟団体より①現金書留または②振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。
- ① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
（公財）日本卓球協会 宛
TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931
- ② 振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会
- 注）個人またはチームから（公財）日本卓球協会への直接申込および送金は受け付けません。
必ず各都道府県卓球協会・連盟が上記参加資格を確認し、一括して申込みをするものとする。
- (15) 申込締切 2026年9月28日(月)までに申込手続きを完了すること。
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。
- (16) 宿 泊 後日、旅行代理店より各都道府県卓球協会・連盟へ連絡する。
- (17) 表 彰 各種目1～3位までとし、該当選手にメダル、表彰状を授与する。
※参加者が8名（組）に満たない種目は1、2位のみの表彰とする。
- (18) そ の 他
- ① 一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更は認めない。
 - ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地および本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
 - ③ 10回出場表彰を行います。通算出場回数が10回に達した選手は、所属の都道府県卓球協会・連盟に申告すること。
 - ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。選手の健康管理は本人の責任とします。
 - ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
 - ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

【お知らせ】

全日本ラージボール卓球選手権大会／全国ラージボール卓球大会につきまして、2027年度大会から下記の通り内容を変更して実施いたします。

- ・全日本ラージボール卓球選手権大会（シングルの部）
- ・全日本ラージボール卓球選手権大会（ダブルスの部）

※シングルの部について、現行のシングル種目と同様の年齢区分です（男女各9種目）。

※ダブルスの部について、現行の混合ダブルスに加え男女ダブルスを設けます

※ダブルスの部について、男女ダブルスを含め現行の混合ダブルス種目と同様の年齢区分です（男女混合各8種目）。

※シングルの部／ダブルスの部2大会への同年度重複出場が可能です

※ダブルスの部について、男女ダブルス／混合ダブルス2種目への同年度重複出場はできません

※全国ラージボール卓球大会で行っていた10回出場表彰は廃止いたします